

授業概要

社会の中のさまざまなトラブルは、何が問題で、どのように考え、どう判断すればよりよい解決になるのか。そのよりどころとなる法的な考え方（リーガルマインド）を身につけることが現代社会で必要となる。こうした問題解決の指針となるリーガルマインドを身につけていないと、トラブルに巻き込まれ易くなるかもしれない。トラブルの多くは、安易な方法を選択し、こうした解決ができなかったことが原因だからだ。そこで、この講義では、生活の中のさまざまな問題について、リーガルマインドを通じて、解決策を考えることを内容としている。

授業計画

| | |
|--------|-------------------------------|
| 第 1 回 | 法への扉を開こう ―ガイダンス |
| 第 2 回 | 契約の自由と信義則 ―その契約をしても大丈夫？ |
| 第 3 回 | 所有と占有 ―所有と占有って違うのか？ |
| 第 4 回 | 裁判員制度 ―もし、あなたが裁判員に選ばれたらどう判断する |
| 第 5 回 | 少年法はなぜ制定されたのか ―少年法の理念から考える |
| 第 6 回 | 情報と法① ―替え歌は違法なのか、著作権から考える |
| 第 7 回 | 情報と法② ―著作権の保護期間は適正か |
| 第 8 回 | 情報と法③ ―個人情報保護するものとは |
| 第 9 回 | 労働者の権利 ―労働法で保護される労働者とは |
| 第 10 回 | 家族と法 ―家族（親族・姻族）とは |
| 第 11 回 | 結婚についての決まり ―夫婦は同姓、別姓 |
| 第 12 回 | 刑罰とは何か ―刑務所の中の問題から考える |
| 第 13 回 | 死刑制度―死刑制度は必要なのか、世界の状況から考える家 |
| 第 14 回 | 消費者法から考える契約―マルチ商法ってなに？ |
| 第 15 回 | リーガル・マインドとバランス（まとめ） |
| 第 16 回 | 試験（筆記） |

達成目標

「リーガルマインド」「法的安定性」「具体的妥当性」「社会規範と法的判断」「法の目的と機能」「条文と解釈」といったキーワードが理解でき、具体的な紛争の平和的解決が出来ることを目標とする。

履修上の注意

実際の法を学ぶためにも、法に関する様々な時事的問題に触れることは大切と思われる。そのため、日々のニュースに目を向けることが習慣となるようにしてほしい。

予習復習

予習としては、日々、法的な様々なニュースは起こっており、そのような点を踏まえ、身近な決まりについて考えてみる。

復習としては、身近な決まりから、法のもつ意味を理解し、不明な点は各自で調べて確認をする。

評価方法

定期試験（筆記）とレポート課題などの実施で評価を行う。試験 90%、レポート課題、小テストなど 10%

テキスト

・教科書名：『法学のおもしろさ（第3版）』（北樹出版） ISBN：978-4-7793-0607-5

・著者名：山本 聡

※その他、講義で使用するプリントを毎回配布する。